

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2004-69905 (P2004-69905A)
 【公開日】平成 16 年 3 月 4 日 (2004.3.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-009
 【出願番号】特願 2002-227291 (P2002-227291)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 C 7/02
 D 0 6 P 3/00
 D 0 6 P 5/00
 D 0 6 P 5/20
 G 0 2 B 1/10

【F I】

G 0 2 C	7/02	
D 0 6 P	3/00	C
D 0 6 P	5/00	D
D 0 6 P	5/20	A
D 0 6 P	5/20	C
D 0 6 P	5/20	Z
G 0 2 B	1/10	Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 8 月 2 日 (2005.8.2)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

略真空雰囲気を形成する染色装置内に昇華性染料が塗布された基体の塗布面をプラスチックレンズと非接触に対向させた状態にて設置する第 1 工程と、該第 1 工程後、前記染色装置を略真空雰囲気にする第 2 工程と、第 2 工程後、前記プラスチックレンズの温度上昇を抑制しつつ前記染色装置内部に置かれた基体を加熱することにより前記昇華性染料を昇華させ前記プラスチックレンズに付着させる第 3 工程と、からなることを特徴とするプラスチックレンズの染色方法。

【請求項 2】

請求項 1 のプラスチックレンズの染色方法において、前記第 3 工程後、前記昇華性色素が蒸着されたプラスチックレンズを大気圧中にて所定の温度にて加熱する第 4 工程を含むことを特徴とするプラスチックレンズの染色方法。

【請求項 3】

請求項 2 のプラスチックレンズの染色方法において、前記第 2 工程におけるプラスチックレンズの温度上昇の抑制は、前記第 4 工程後に得られるプラスチックレンズの染色濃度を、所望する染色濃度に対して所定の色差内に収めるために必要な温度範囲を維持するように行われることを特徴とするプラスチックレンズの染色方法。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のプラスチックレンズの染色方法において、前記プラスチックレンズの温度上昇の抑制は、前記染色装置を冷却することにより染色作業前の前記プラスチックレン

ズ上の温度を70以下にすることを特徴とするプラスチックレンズの染色方法。

【請求項5】

装置内に昇華性染料が塗布された基体とプラスチックレンズと設置して染色を行う染色装置において、該染色装置内を略真空雰囲気にするための真空雰囲気形成手段と、前記染色装置内に設置され前記基体を加熱する可熱手段と、前記染色装置に設置され染色装置の温度を下げる冷却手段と、を備えることを特徴とする染色装置。

【請求項6】

請求項5の染色装置は、該染色装置の外壁温度を検出する検出手段と、該検出手段により検出された温度によって前記冷却手段の駆動を制御する制御手段と、を備えることを特徴とする染色装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

(1) 略真空雰囲気を形成する染色装置内に昇華性染料が塗布された基体の塗布面をプラスチックレンズと非接触に対向させた状態にて設置する第1工程と、該第1工程後、前記染色装置を略真空雰囲気にする第2工程と、第2工程後、前記プラスチックレンズの温度上昇を抑制しつつ前記染色装置内部に置かれた基体を加熱することにより前記昇華性染料を昇華させ前記プラスチックレンズに付着させる第3工程と、からなることを特徴とする。

(2) (1)のプラスチックレンズの染色方法において、前記第3工程後、前記昇華性色素が蒸着されたプラスチックレンズを大気圧中にて所定の温度にて加熱する第4工程を含むことを特徴とする。

(3) (2)のプラスチックレンズの染色方法において、前記第2工程におけるプラスチックレンズの温度上昇の抑制は、前記第4工程後に得られるプラスチックレンズの染色濃度を、所望する染色濃度に対して所定の色差内に収めるために必要な温度範囲を維持するように行われることを特徴とする。

(4) (1)～(3)のプラスチックレンズの染色方法において、前記プラスチックレンズの温度上昇の抑制は、前記染色装置を冷却することにより染色作業前の前記プラスチックレンズ上の温度を70以下にすることを特徴とする。

(5) 装置内に昇華性染料が塗布された基体とプラスチックレンズと設置して染色を行う染色装置において、該染色装置内を略真空雰囲気にするための真空雰囲気形成手段と、前記染色装置内に設置され前記基体を加熱する可熱手段と、前記染色装置に設置され染色装置の温度を下げる冷却手段と、を備えることを特徴とする。

(6) (5)の染色装置は、該染色装置の外壁温度を検出する検出手段と、該検出手段により検出された温度によって前記冷却手段の駆動を制御する制御手段と、を備えることを特徴とする。